



▲日ごろの成果を存分に発揮した醸芳中学校駅伝チームの皆さん（女子チームは17位）

区間	距離 (km)	選手名	学年	個人		チーム 順位
				タイム	区間 順位	
1	3.06	幕田成勢	2年	10分18秒	8位	8位
2	3.00	朽木悠翔	3年	9分18秒	1位	1位
3	3.00	國分 駈	2年	9分52秒	1位	1位
4	3.00	平井捷仁	2年	11分14秒	20位	1位
5	3.00	須田湧也	3年	10分30秒	2位	1位
6	3.00	吾妻浅黄	3年	10分48秒	9位	1位

第66回福島県中学校体育大会
駅伝競走大会県北地区予選で、
醸芳中学校・男子チームが初優勝を果しました。県北地区予選は9月5日、あづま運動公園内で行われ、第1区で区間8位と好スタートをきり、続く第2区では、区間新記録の走りで行く選手をこぼす抜き。首位で襷を受けた第3区でも区間賞の力走で順位をキープ、続く第4・5・6区の粘りの走りで、首位を譲らずゴールテープを切り

襷でつないだみんなの想い 中学校駅伝県北地区予選で悲願の優勝

ました。「全員で県北大大会優勝を勝ち取った。ラストスパートをしっかりとけて、県大会でも上位入賞を目指す」と話す主将の朽木悠翔さん。駅伝部顧問の嵐田美美子教諭は「走ることが大好きで、猛暑の練習でも共に支え合い頑張ってきた醸芳中は、チームの絆と皆の応援を襷につなぎ、頂点を目指します」と次戦へ向けて意気込みを話しました。県大会は、10月4日、同所で行われます。

命を大切に、今をしっかりと生きていく

たった一発の原子爆弾で、焼野原となった広島。大切な人たちが一瞬で消えてしまうなど誰も想像しなかったはず。78年後の広島は、青い空が広がり美しい街並みがありました。生き残った人たちが築き伝え続けてきたからこそ、戦争の怖さを知ることができます。私たちも歴史をつなぐために、命を大切に生きていくことが大切だと思いました。



醸芳小
はくと
岡崎 珀大さん

命の尊さ、平和に暮らせる幸せ

平和記念資料館に展示されている、原子爆弾で亡くなってしまった人たちの遺品を見て、当時の悲惨さを知り、このようなことは絶対にあってはならないと思いました。今回の学習では、命の尊さや平和に暮らせる幸せを感じ、今まで夏休みの1日に過ぎなかった8月6日の意味を知りました。またいつか広島に行き、平和について学びたいです。



醸芳小
なる
亀岡 成さん

平和な世界への第一歩

一瞬で多くの命を奪う核兵器は、この世界に存在してはならないものだと思います。「命を大切にしてほしい」と語った被爆者や核兵器廃絶を願う演説した人の声が、今でも心に響いています。自分で目にし聞いた多くの人の心の叫びから学んだことを皆に伝え、一緒に考えていくことが、私にできる平和な世界を築くための第一歩だと思いました。



睦合小
のぞみ
佐藤 望美さん

平和な世界へ

平和記念資料館で見た亡くなった人々の絵やボロボロの学生服。現実起きたこととは思えず、胸が痛みました。過去は変えられませんが、過去から学ぶことはできます。私には、学んだことを伝える責務があり、家族や友達に伝え、皆が自分事として行動していくことで、その連鎖が世界を変えるきっかけとなる、それが私の希望です。



半田醸芳小
りゅうが
吾妻 竜芽さん

平和を未来へつなぐこと

平和学習に参加して、平和は願うだけでなく、未来へ伝え、つないでいかなければならないと強く思いました。平和のためには、ただ願うだけでなく行動し、願いや思いを言葉にすることが大切です。相手のためになることを進んで行い、平和がどんなに素晴らしいことか自分の言葉で伝えていきます。私の一歩が、平和を未来へつなぐ一歩となるように。



伊達崎小
かなで
大槻 風奏さん

平和学習派遣事業が8月5日から7日に行われ、各小学校6年生の代表児童5人が参加しました。
児童らは、広島市の平和記念式典に参列し、市長による平和宣言やこども代表の平和への誓いを聞き、原爆の子の像に千羽鶴を奉納。被爆者体験講話では、

原爆投下の日に、広島を訪問 戦争の恐ろしさ、平和の尊さ学ぶ

当時の惨状を語る生の声に触れることができました。また、平和記念資料館では、戦争や原爆の悲惨さを物語る資料を目の当たりにし、現実起こった出来事と真剣に向き合うなど、児童らは、戦争の恐ろしさや平和の尊さを熱心に学びました。



1_各小学校6年生が折った千羽鶴を原爆の子の像に奉納
2_原爆死没者への鎮魂と未来の平和を共に誓った平和記念式典 3・4_資料館や原爆ドームを訪れ、戦争が残したものや向き合いながら、平和について考える児童たち



▶会田教育長から激励金を受け取る岡崎くん(右)

町は9月13日、剣道の全国大会が決まった岡崎珀大くん（醸芳小6年）に、激励金を贈りました。会田智康教育長は「7月に引き続き、再び全国大会に出られることはとても素晴らしいこと。持てる力を存分に出し切り、さらなる活躍を期待する」

剣道の全国大会での活躍に期待 岡崎珀大さんへ激励金贈呈

と激励しました。岡崎くんは、9月17日に大阪府で開かれた第18回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会に、福島県代表の大将として出場。また、10月15日に埼玉県で開かれる全国道場少年剣道選手権大会第47回小学生男子の部に出場します。

第17回市町村対抗福島県軟式野球大会が9月9日、ヨーク開成山スタジアム（郡山市）で開かれ、須賀川市と対戦しました。
試合は1回、先発投手の須藤翔選手が無失点に抑え、2回には大槻俊齊選手がタイムリーを放ち

町代表チーム奮闘 市町村対抗福島県軟式野球大会

先制。しかし、その裏に4失点、6回にも3失点を許し、1対7で最終回を迎えました。怒涛の攻撃で4点を返したものの、反撃及ばず5対7で試合は終了。惜しくも勝利を逃しましたが、最後まで諦めず、果敢に攻める選手らの姿がありました。



▶先発投手として力投をみせる須藤選手